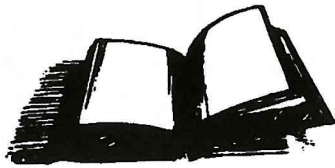


図書館報



灯す

第32号

考える心に「火」を灯そう

編集・発行／
愛知県立小坂井高校図書館
〒441-0103
豊川市小坂井町欠田100-1
電話 0533-72-2211
FAX 0533-72-2244
印刷／有限会社エト
電話 0533-85-9922
FAX 0533-80-7230

「先人からのエール」

校長 高畑尚弘

昨年四月、あの本が学校の図書館にあるか探しに行つた。「あつた。」うれしかった。その本は「大漢和辞典(全十三巻)」、圧倒的な存在感。編纂者は漢学者・諸橋徹次博士。以前読んだ新書「努力論」(斎藤兆史著)に、発刊に至る艱難辛苦のドラマが描かれていた。辞書は小説等とは異なりやや無機的だが、「大漢和辞典」を目前にすると編纂に命を削つた人たちの想いを窺うことができ、うれしかった。

め、多数の先人の人となり。描かれており、時を忘れぐんぐん引き込まれた。

著者の斎藤氏は英語が専門、「まえがき」には英語の学習について「学習者はややもすると地道な文法・読解の訓練を嫌い、日常のやり取りで話が『通じた』という安直な達成感に酔いしれるようになった。(中略)ただ楽しいだけの学習で身につく語学力がどの程度のものか、少し考えてみればわかりそうなものだ。」とあり、手厳しく痛烈だ。本文には、諸橋氏を始

さて、諸橋博士は「漢書を読み解く辞書が中国にもないから」と思い立ち、約三年の歳月を費やし、漢字発祥の中国に例を見ない「大漢和辞典」を完成させた。第一巻の序、第十二巻の跋には、完成に至るまでの苦難や不幸とともに協力者への深い感謝の気持ちが書かれている。九六歳の時には人生を振り返り、「…本気になって、誠というもので一貫すれば、時勢の変遷があつても、いろいろな条件が変わつていっても、必ず『事は成る』ということとは間違いない…。」と、答えている。



写真部作品「榊鬼」 一年七組 伊藤 優生